

効果的な長期戦略のために： 脱炭素化によるビジネス機会

企業と投資家のグローバルな傾向

2019年1月17日

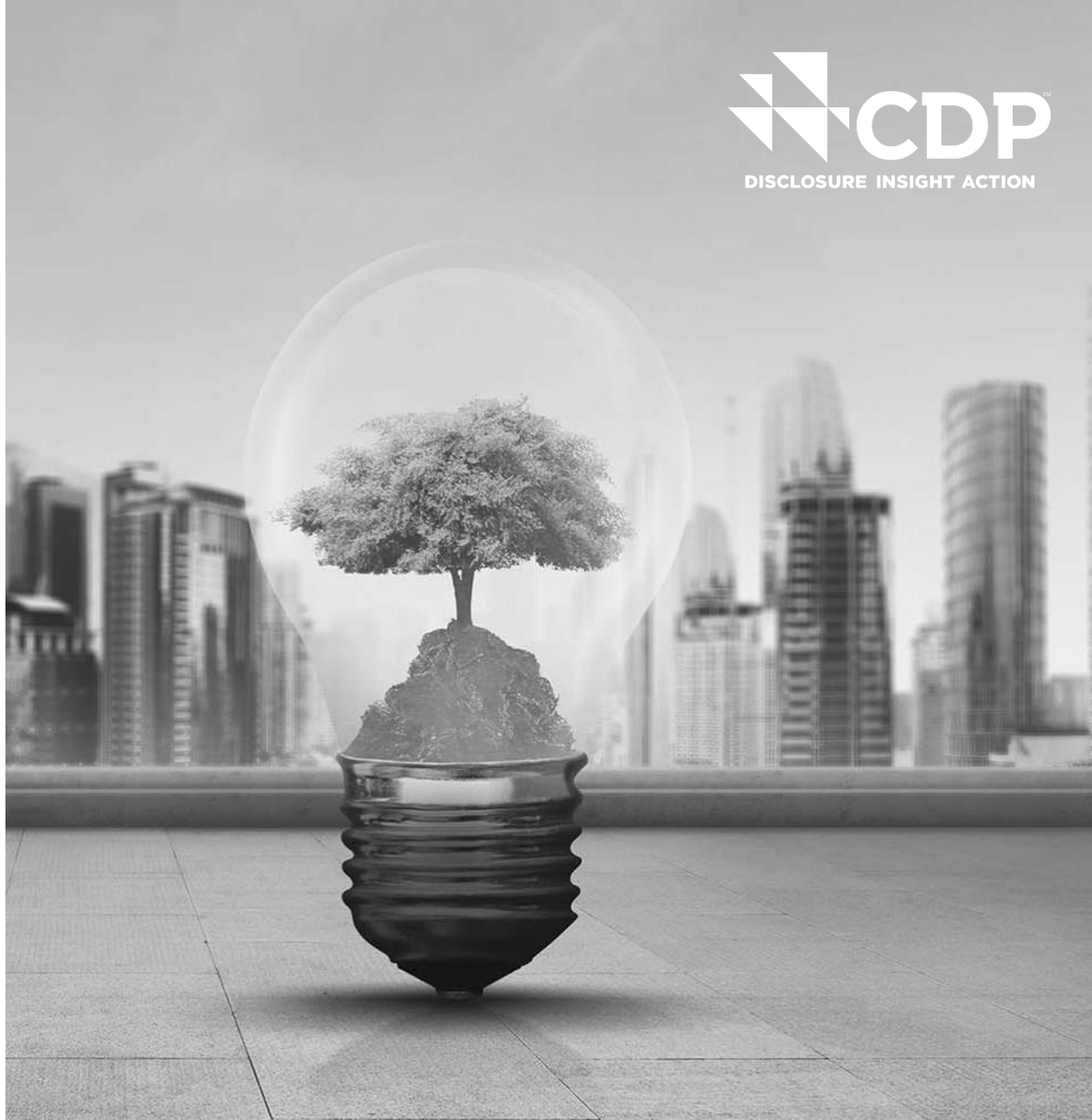
CDPについて

CDPの活動

人々と地球にとって長期的に繁栄する
経済の構築を目指して・・・



投資家、企業、都市に焦点をあて、それらの環境への影響を評価・分析することで、真に持続可能な経済への転換のための、迅速な対応を促しています。



CDPの2018年の実績



650以上の機関投資家（総資産運用額87兆米ドル）



110以上のサプライチェーンメンバー（総購買額3兆米ドル以上）



7,000社以上がCDP質問書に回答



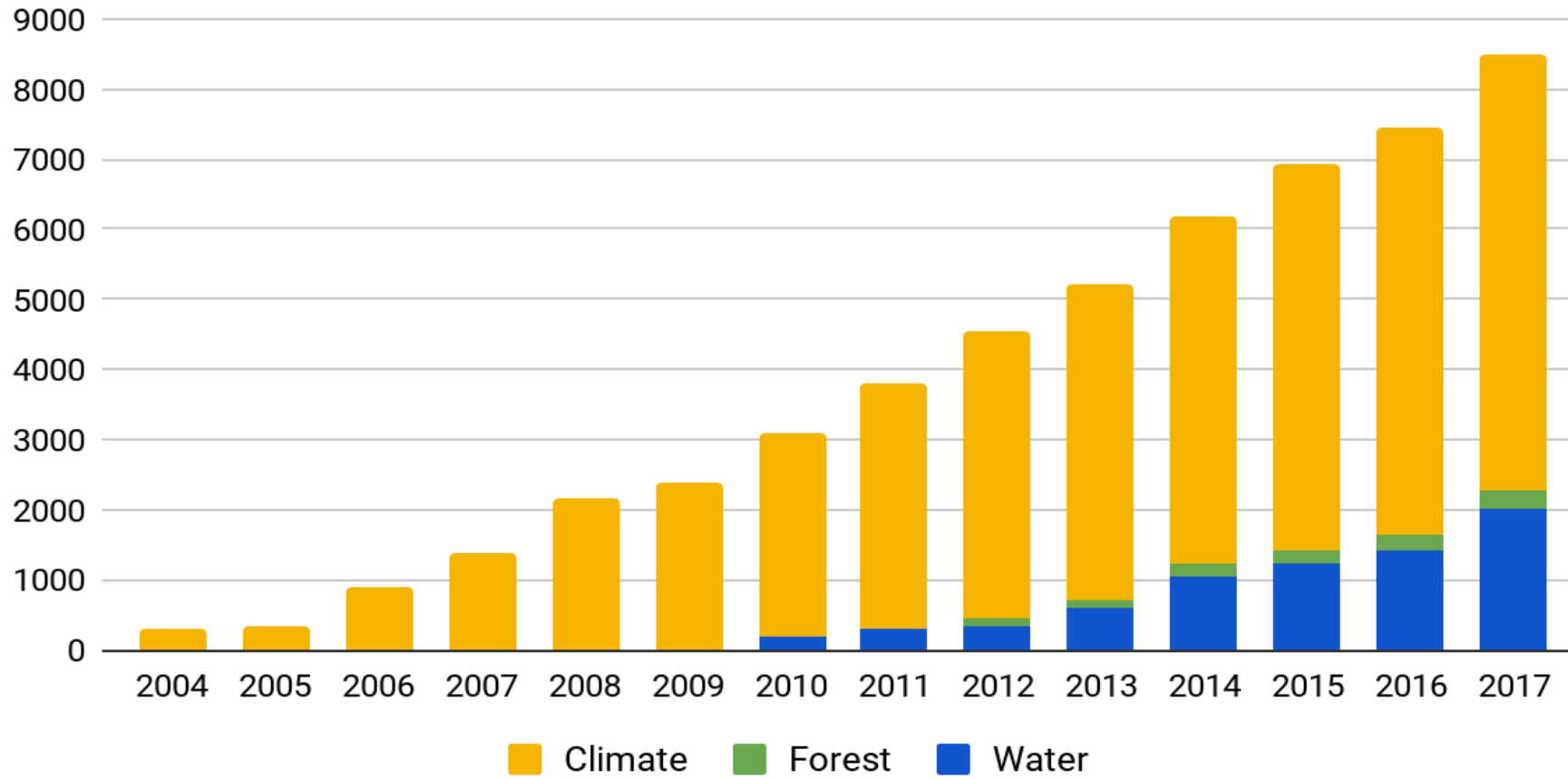
620以上の都市が環境情報を開示



120以上の州や地域が環境情報を開示

CDPへの回答数（気候変動・水・森林）

Annual CDP Disclosure Rates



多くのデータプロバイダーがCDPを活用

CDPは、環境に関する
リサーチ、データ、指
標、評価、格付けの基
となる重要なデータを
提供



CDPが向かっている方向



セクター別の質問書



企業が持続可能な経済への移行をどのように計画しているかを評価できるように、より長期的な視点の指標の開示を要請。



TCFD提言を開示プラットフォームに統合



気候変動、水セキュリティ、森林減少の分野間の整合性向上



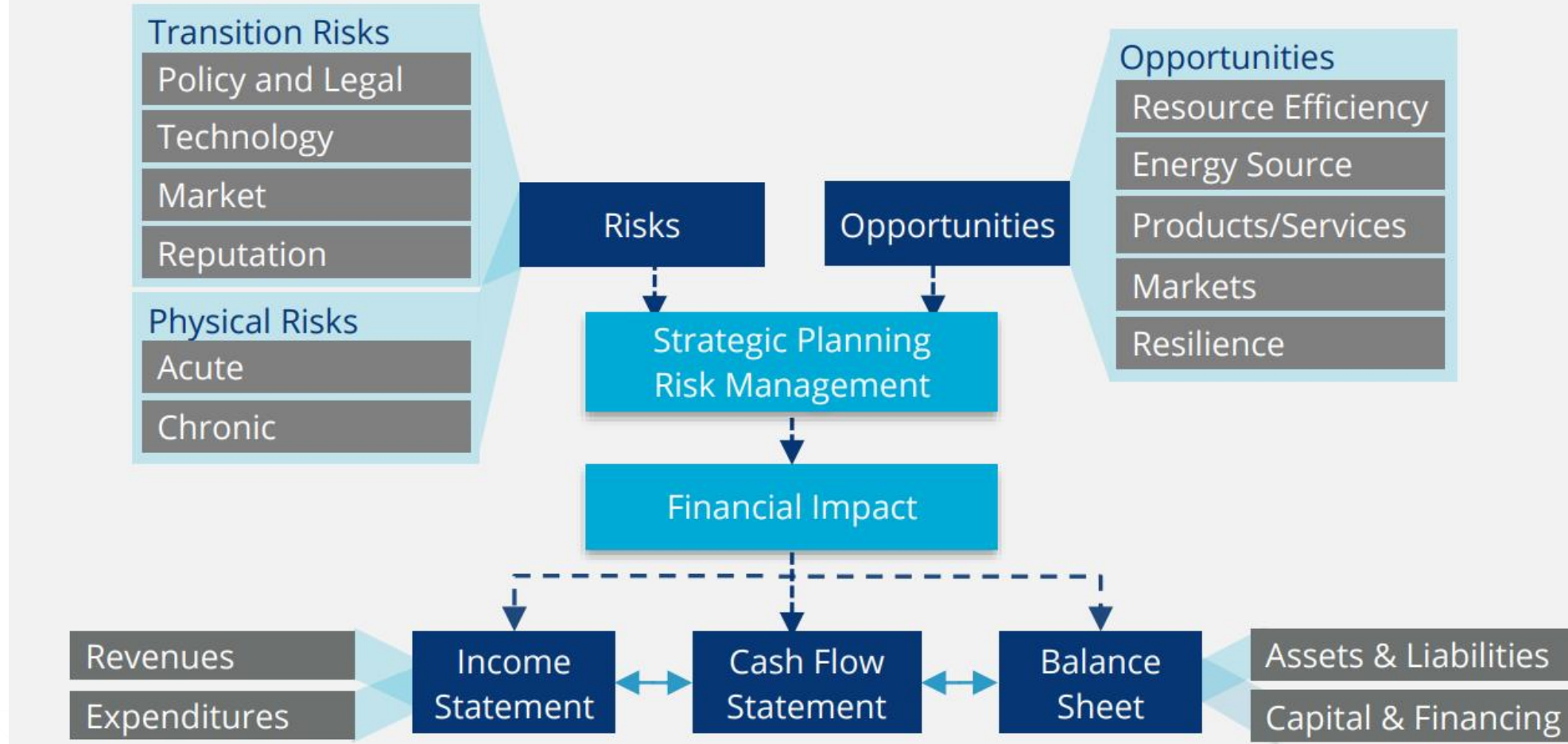
企業・都市の開示プラットフォームをより強固なものに更新

CDPとTCFD

（「気候関連財務情報開示タスクフォース」）

TCFDの構成

Climate-Related Risks, Opportunities, and Financial Impact



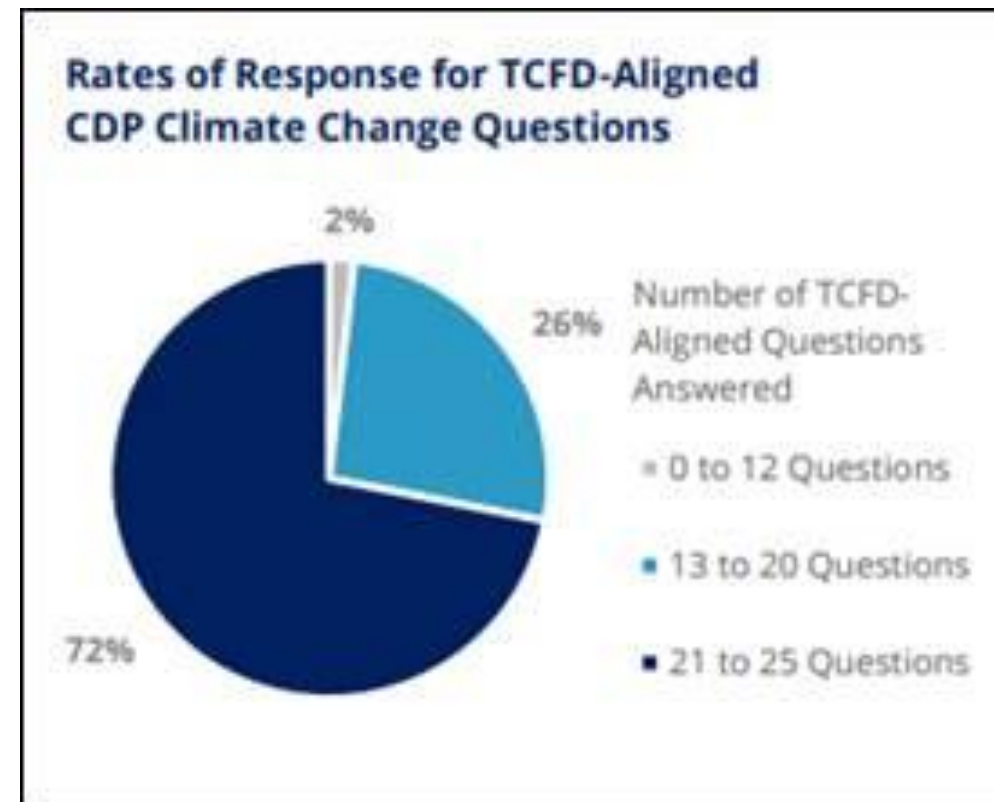
TCFD報告書のポイント（2018年9月）

- ▼ 気候関連情報を開示を行っている方が多数派である。
- ▼ 様々な気候関連シナリオの下での事業戦略のレジリエンスに関する情報は不足している。
- ▼ 複数の異なる報告書で情報開示が行われている。
- ▼ 財政的な影響は公表されていない。
- ▼ 情報開示の状況は業界や地域で大きく異なる。



CDPはTCFDに準拠

- ▼ CDP気候変動質問書はTCFDに準拠しており、70%以上の回答企業がTCFDに関連する25の質問のうち21以上に回答。



CDPの仕組み：質問書



複数分野の一貫性



各セクターに対応



TCFDとの連携

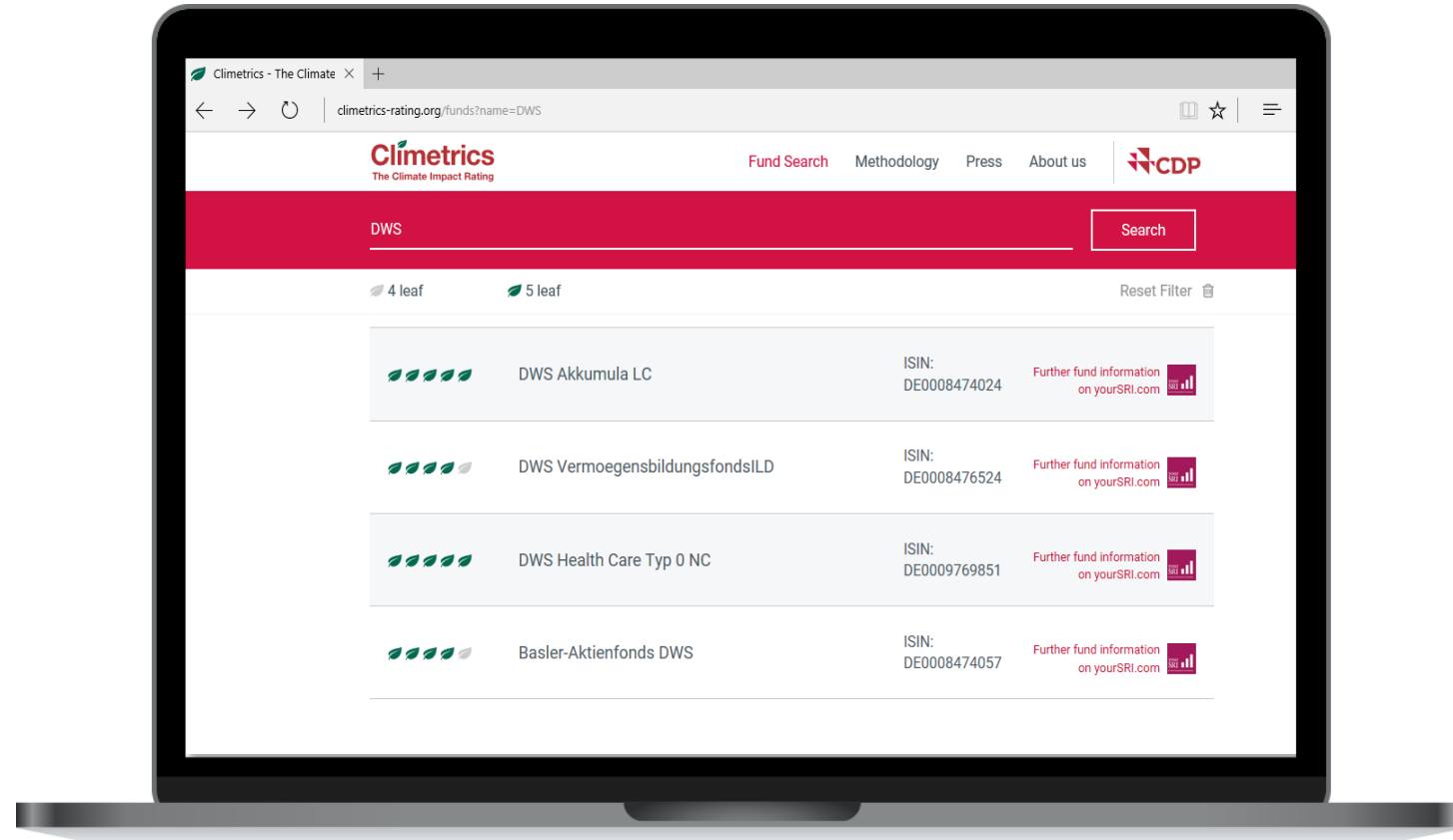


クライメトリクス (Climetrics)

クライメトリクス

- ▼ クライメトリクスは、気候関連リスクの観点から4500以上のファンドを評価。
- ▼ 緑の「葉っぱ」の数でレーティングを行うことで、投資家はファンドを簡単に比較可能。
- ▼ 評価手法とレーティングは以下にて公表：






www.climetrics-rating.org



クライメトリクス: 評価手法

- ▼ クライメトリクスのレーティングはユニバース全体の中で相対的に決定*
- ▼ 1～5までの緑の「葉っぱ」で評価
- ▼ 最も高い評価を得るための厳しい条件
- ▼ 評価は随時更新

各評価の割合

Leaf Rating	Percentage Distribution
	Lowest 10%
	Next 22.5%
	Next 35%
	Highest 32.5%
	Threshold criteria apply

Funds assigned four leaves are eligible for a fifth leaf if the following threshold criteria are met:

1. Most recent portfolio holdings score ≥ 70
2. Asset Manager score ≥ 60

* Funds selected by CSSP AG based on fund size and full holdings availability.

サプライチェーンへの関与

CDPの仕組み：サプライチェーンへの要請



企業は、十分な情報を得た上で事業の運営、投資、戦略立案を行うために
CDPの情報開示やサプライヤーからのデータを活用



権限



開示を要請

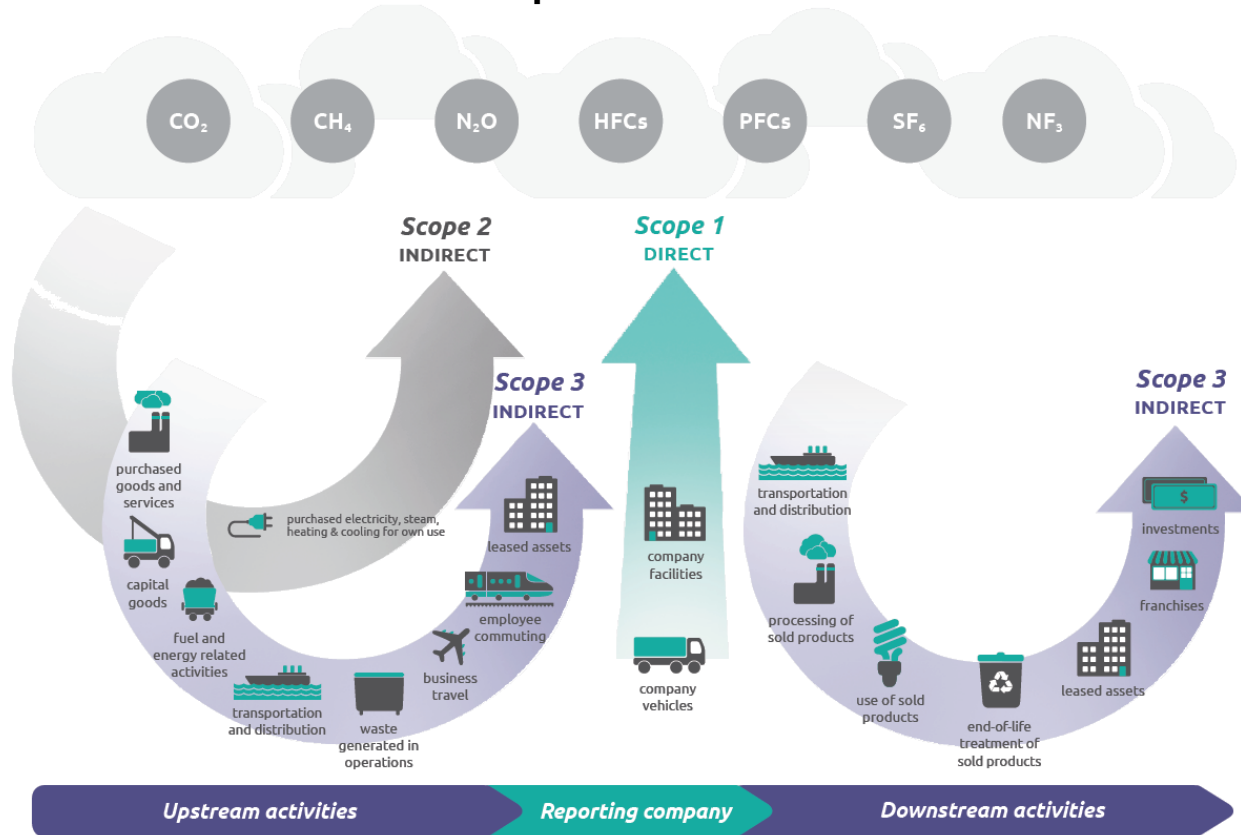


CDPは、サプライチェーンに関する
情報開示やデータを企業に提供

サプライヤーは、TCFDに関連する環境への影響につ
いてのデータ（リスク、機会、投資、戦略）を提示

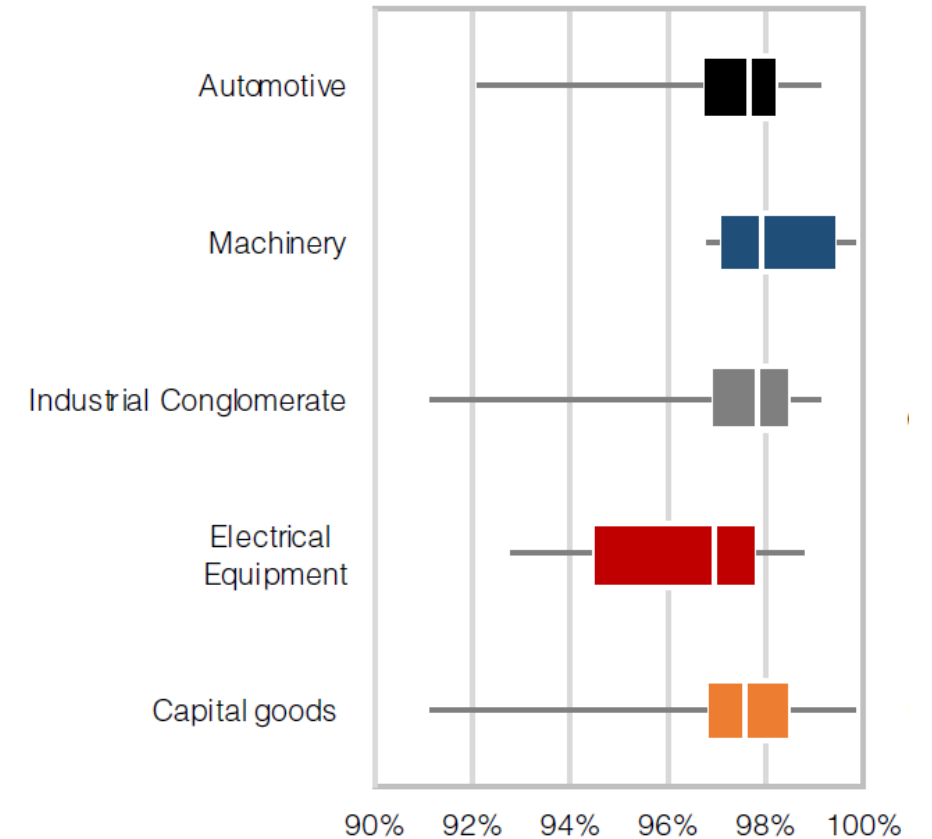
サプライチェーンの重要性

Overview of GHG Protocol scopes and emissions across the value chain



Source: GHG Protocol Technical Guidance Scope 3 Emissions

Scope 3 share of total company emissions (%)



CDPが期待すること

- ▼ 脱炭素化の機会を最大限に活用し、投資判断において気候変動リスクを十分に考慮するという持続可能な金融システムを作るために、G20各国に期待することは
 - ▼ TCFD提言実施への支援を表明
 - ▼ カーボンプライシング連合や2018カーボンプライシング・コリドーズの分析に沿った、カーボンプライシング導入への後押し
 - ▼ 石炭利用への補助金の早期廃止

- ◆ 多くのビジネス関係者が、G20がゼロカーボンへの移行のための長期戦略を策定し、2020年までのNDCにおいて力強い目標を打ち出すことで、気候変動対策をさらに進めることに期待。
- ◆ 明確な目標とタイムラインが示されることで、ビジネス界もより野心的な目標を確信を持って定めることができ、したがって国全体で高い目標を掲げることができる。



CDP

Address: Otemachi, Chiyoda-ku, Tokyo 100-0004



Tel: +81 (0)3 6225 2232



www.cdp.net



mchiyo.morisawa@cdp.net

